資料4

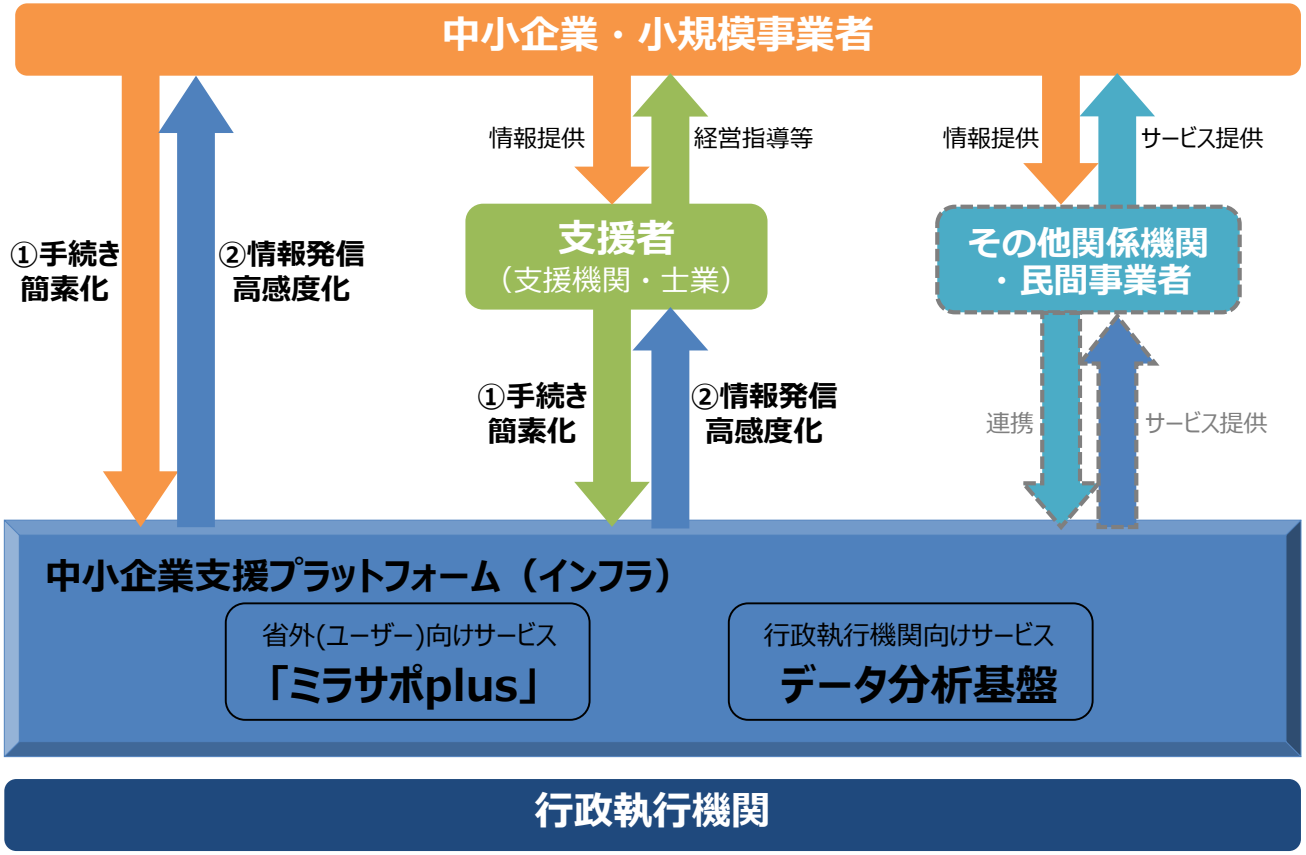
中小企業支援プラットフォーム
検討案

平成31年1月30日

中小企業庁

データに基づく中小企業行政を目指して（中小企業支援プラットフォーム構想）

- ワンストップで中小企業サービスを提供できるプラットフォーム「**中小企業支援プラットフォーム**」を構築し、**データに基づく**より効果的な中小企業行政を目指す。
- 中小企業・小規模事業者は所定の情報を、**行政に「一度だけ」電子提出**することにより、**共通IDで様々な行政手続が可能**となる（**法人共通認証基盤**、**ワンスオンリー**）。また、数多ある中小企業支援施策について、**個々の事業者のニーズや事情に合わせて簡易に入手可能**となる（**リコメンデーション**）。オンライン行政手続きにより得られたデータは**職員による分析**等により有効活用し、**行政サービスの質の向上**に繋げていく。
- データ連携の範囲は関係機関や民間事業者等、徐々に拡張していくことでシナジー効果を出し、プラットフォームが中小企業支援の基盤として持続的発展をしていくことを目指す。



目標⓪：インフラの整備

目標①：手続き簡素化
ワンスオンリー等、事業者がより簡易に行政サービスを受けられるようにする。

目標②：支援施策発信の高感度化
支援施策や事例集のリコメンデーションや、認定支援機関の見える化により、個々の事業者が、必要とする施策やそれぞれの課題に合った専門性の高い支援機関を簡単に見つけることができるようにする。

目標③：支援策の質の向上
支援体制の質の向上
データに基づいた分析、見える化

目標④：民間事業者等のプラットフォーム参加

中小企業庁が運営する「中小企業支援プラットフォーム」の位置づけ

●現状「ミラサポ」の課題認識

1. 「ミラサポ」のコンテンツが肥大化し複雑、ターゲットが不明確になっている。
2. 更に、「J-net21」「中企庁HP」「中小機構HP」等、同様の情報が掲載されたサイトが多く、ユーザーが混乱。
3. 「ミラサポ」のサイト運用が煩雑（メルマガ、コンテンツ更新）になっており、サイトの効果測定を図りにくい。

●「ミラサポ」改善（=「ミラサポplus」）方針：

目的のコンテンツを探しやすい・使いやすい、という基本機能を純化させ、更にオンライン行政手続き機能を強化することで、検索から申請までのワンストップサービスを実現させ利便性向上を図る。

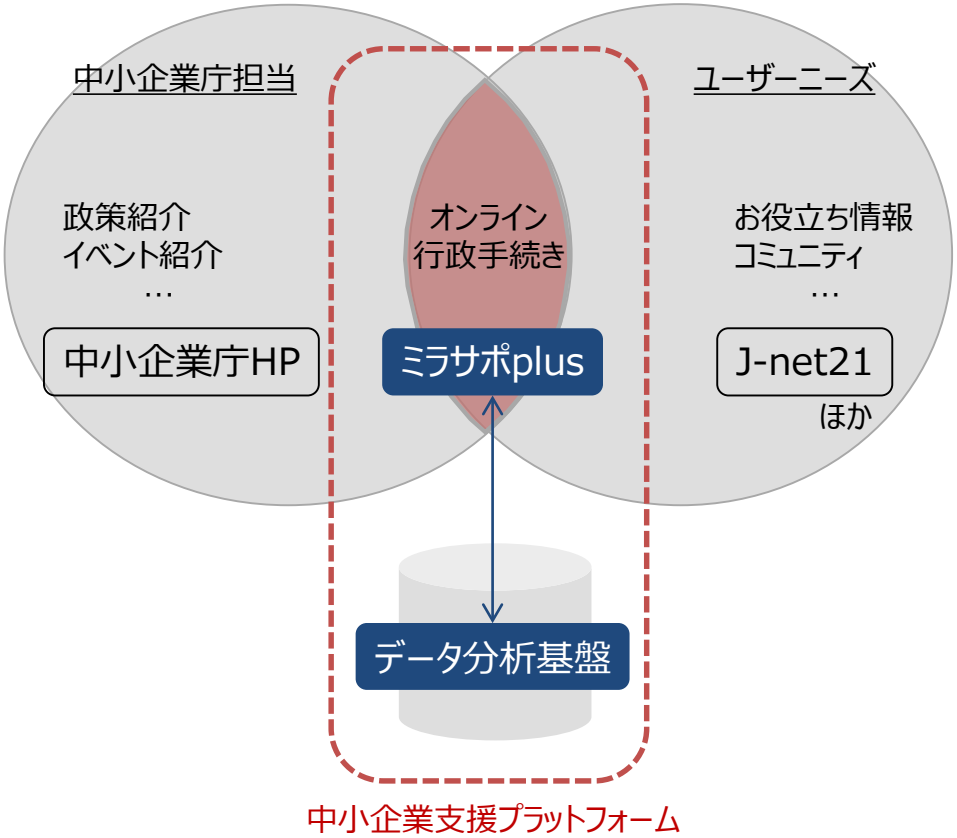
●「ミラサポplus」のターゲット

サービススコープ：

（1）オンライン行政手続のサポート
（2）支援情報等のコンテンツは他サイトと分担

サービスターゲット：

(1) 支援ツールを探す中小企業事業者、支援者、支援機関
(2) 中小企業施策に関わるユーザ（ポテンシャル、閲覧のみ）



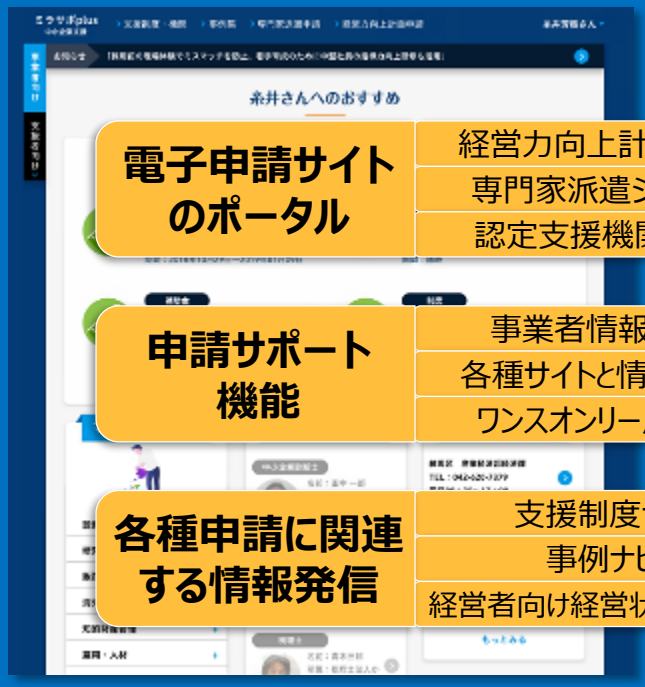
「中小企業支援プラットフォーム」（インフラ）のイメージ ～ Smart Administration ～

中小企業支援プラットフォーム

省外(ユーザー)向けサービス

「ミラサポplus」

～ 中小企業向けオンライン行政手続サポートサイト ～



電子申請サイトのポータル
- 経営力向上計画申請
- 専門家派遣システム
- 認定支援機関申請

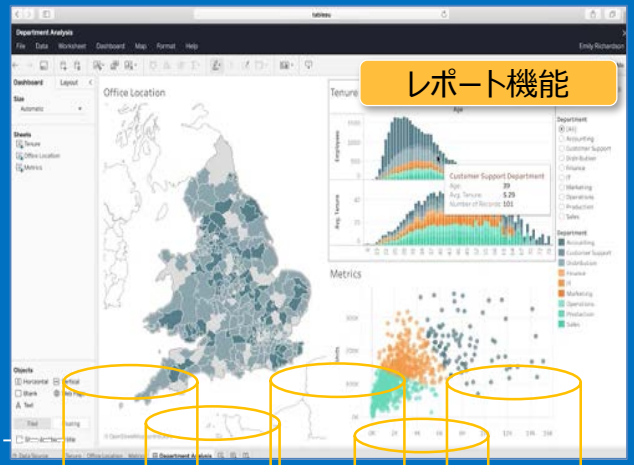
申請サポート機能
- 事業者情報管理
- 各種サイトと情報連携
- ワンスオンリー用API

各種申請に関連する情報発信
- 支援制度ナビ
- 事例ナビ
- 経営者向け経営状況可視化

行政執行機関向けサービス

データ分析基盤

～ 中小企業施策統合分析基盤 ～



レポート機能

データベース群

蓄積されたデータの有効活用を実現。補助金等の提出データを取り出せるほか、法人インフォ・統計等の定量データを掛け合わせた分析を行う。

連携

補助金申請システム

J-net21

法人共通認証基盤

連携

再掲）中小企業事業者データベースに必要な事業者データ項目案

- 支援策の申請手続きの利便性向上、事業者データを活用した施策立案の実装のために必要な事業者データ項目を特定し、中小企業事業者データベースに蓄積される環境整備が必要。
- データの活用目的ごとに、必要な事業者データ項目（案）を、以下のとおり整理。

	利活用目的/説明	具体的な事業者データ項目（案）
事業者向け	① **ワンスオンリー**で利用するデータ	
	現状、複数の行政手続き、あるいは単一の手続きの中でも、幾度も繰り返し記入されているデータ	郵便番号、住所、代表者氏名、資本金・出資金等
	② **リコメンデーション**で利用するデータ	
	事業者の個別の事情や状況に応じた支援施策を提供するのに必要なデータ	業種、事業規模、総従業員数等
行政向け	③ **データ分析/EBPM**で利用するデータ	
	中小企業庁や中小企業・小規模事業者施策に関係する機関等が、中小企業・小規模事業者の実態を把握するのに必要なデータであり、政策評価・分析に用いることができるデータ（その他、上記以外にも利活用を見込めるデータに関しては③に分類する）	財務情報、知的財産情報、海外展開、研究開発等

●青字は要確認or将来的なエンハンス

中小企業支援PFのビジネスプラン① ユーザー（事業者・支援者）向け

	電子申請	経営診断リコメンデーション	情報提供
Who（顧客）	• 中小企業・小規模事業者（個々の法人 及び 個人事業主） • 支援者（支援機関・士業）	• 個々の経営者（個人事業主含む）のうちオンライン行政手続きの申請者・申請ポテンシャルユーザー **【＝カルテを作る人】** • 支援者（支援機関） ※ミラサポノンユーザーの代行として	• 左記以外の事業者**【＝カルテを作らない人】** • 支援者 • その他、**一般ユーザー（情報収集等）**
What（提供価値）	**①ワンスオンリー** 以下の電子申請において、ユーザーが一度提出した情報は二度入力不要となる。 • 補助金（ものづくり補助金/ふるさと補助金/持続化補助金/IT導入補助金） • 法認定（経営強化法関連の「経営力向上計画申請」「認定経営革新等支援機関申請」「認定情報処理支援機関申請」） • 専門家派遣	**②リコメンデーション** 中小企業施策情報が散在し必要な情報を探しづらい現状を解決するため、オンライン行政手続きに特化したコンテンツ（支援制度や事例情報等）を各ユーザーの属性や提出データに基づいて最適表示する。 新しい補助金情報等、必要に応じて制度の受付/〆切等を通知（メール等）する。 ②-a. 以下のような**個人カルテ**を作り、その内容に応じた**経営診断・分析と精緻なリコメンデーション**を行う。 • 経営状況を可視化する（ローカルベンチマークを想定）。 • 補助金利用の場合の財務状況シミュレーション等を生成する。	②-b. 個人カルテは無く、**ユーザーが登録した情報**（以下）やユーザー自身のリクエストに応じて、予めタグ付けされたコンテンツを表示する。 • ユーザー登録時のアンケート • お気に入り（からの類推）
使用データ	• 自社データ（財務データ含む）	• 自社データ（財務データ含む） • 統計データ（ロカベン） • 事例データ、支援制度データ（支援制度情報は、自治体や他府省まで拡充を想定）	• ミラサポplusユーザー登録データ • アクティビティログ（お気に入り・申請履歴等）
How（プロセス）	• 「ミラサポplus」に実装予定の**ワンスオンリー**（プレプリント）用APIにより実現。 • 省内システム（補助金や法認定）との連携が前提、またe-taxやクラウド会計ソフトとの連携が重要。	• 「ミラサポplus」のマイページ内で、財務情報を登録済のユーザーに対し、リコメンデーション情報を表示。 • 法人認証基盤のプライムアカウントを利用。	• 「ミラサポplus」の「各種申請に関連する情報発信」内で実現。 • 通知はマイページの他、メールにて実行。

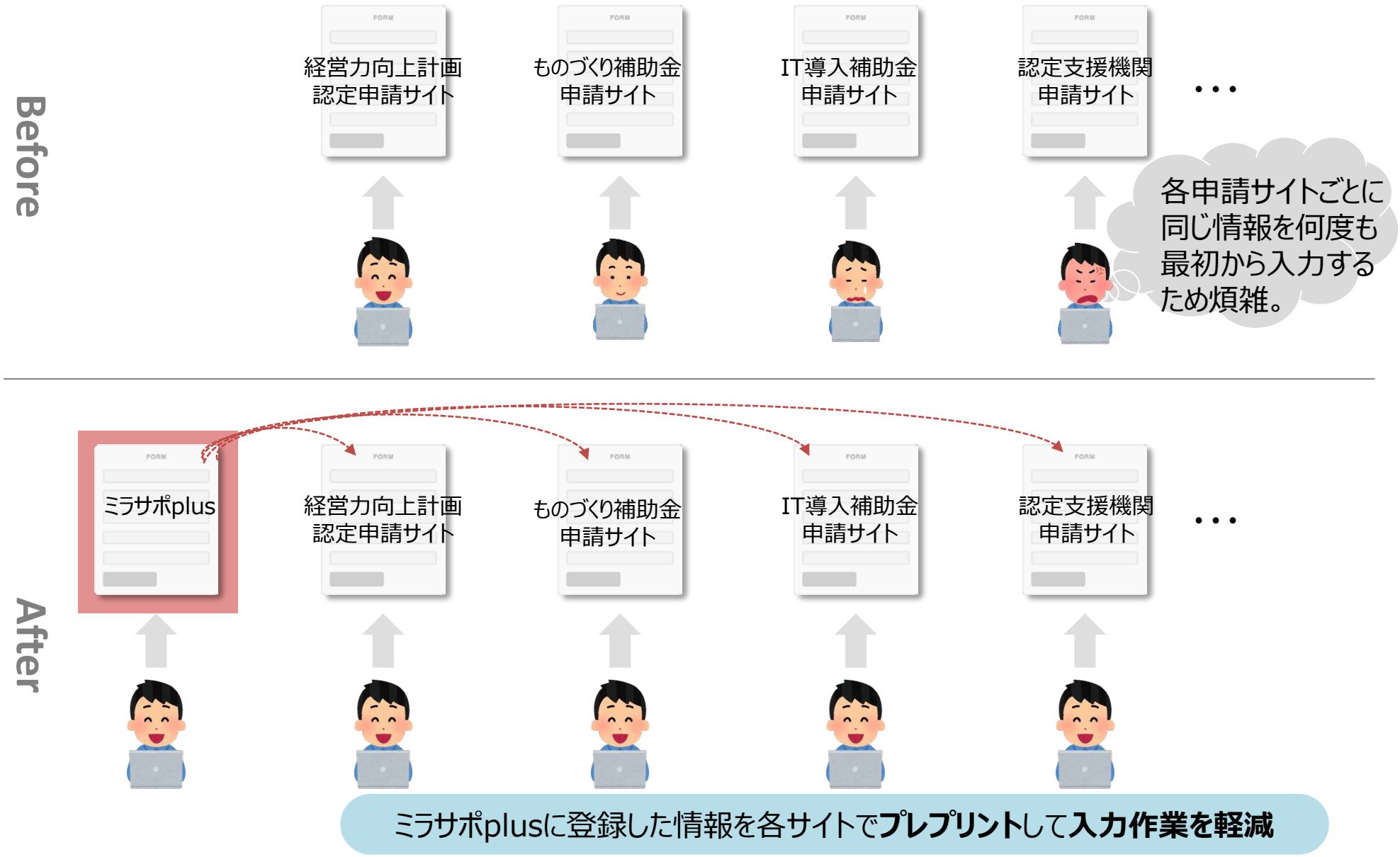
●青字は要確認or将来的なエンハンス

中小企業支援PFのビジネスプラン②　行政執行機関・関係機関向け

	蓄積されたデータの有効活用		さらなるデータ利活用		
	行政執行機関等		その他関係機関		
Who（顧客）	• 経済産業省内 • 地方経済産業局	• 商工会 • 商工会議所 • 中央会 • 中小機構 ---補助金データ---	• 商工会 • 商工会議所 • 中央会 • 中小機構 ---補助金以外のデータ---	• 政府系金融機関（商工中金、公庫、信用保証協会等）	• 他府省（農水省、厚労省等） • 自治体 • 民間事業者
What（提供価値）	**③-a. 現状把握** • 申請事業者情報を、中企庁と局で一元的に管理できる。 • 補助金等の執行状態をリアルタイムで把握できる。 **③-b. 傾向分析・シミュレーション** **（データ分析・EBPM等）** • 過去からの傾向を見える化し、統計データを用いた政策効果分析を行う。（例：補助金の件数予測、事業者の売上予測、設備投資の効果分析、対処方針の予測等） • 補助金等の効果を見るための調査系委託業務を削減できる（スピードアップ/コストダウン）。		• 商工会、商工会議所における支援高度化 将来に向けて可能性を検討 ユースケースと必要なデータを検討		
使用データ	• 個社情報（補助金システム等、電子申請データや審査等の関連データ、ミラサポplusで収集する事業者から許諾を得たデータ） • 法人インフォ、統計、民間調査会社等の網羅的定量データ（③-bのみ）				
How（プロセス）	• 「データ分析基盤」により実現 • データビジュアライズツールの導入	• 同左 • 2020年には商工会・商工会議所との連携を予定。 • 適切なアクセス権の設定要。			

←Scope1｜Scope2→

中小企業支援プラットフォームで実現するワンスオンリーイメージ



ワンスオンリー＞プレプリントの実現イメージ

①情報登録

ミラサポplus
へ情報登録

ミラサポplus

マイページ

◆外部サイト連携

e-Tax	連携	解除
補助金システム	連携	解除
認定支援機関	連携	解除
（民間クラウド会計ソフト）	連携	解除
（民間クラウド会計ソフト）	連携	解除

①外部サイト連携設定

連携
承諾ページ

承諾

②連携への承諾

ミラサポplus

マイページ

◆登録情報

基本情報	
法人番号	1000000000022
法人名	株式会社ABC
財務情報	
売上高	200,300,000
営業利益	10,196,000

③連携サイトからの情報登録

ミラサポplusから情報を取得して自動入力

②電子申請

申請サイトで
電子申請

経営力向上計画認定申請サイト等

認定申請

クリック

法人番号	1000000000022	ミラサポから取得
法人名		
売上高		
営業利益		

④申請サイトで法人番号を入力

経営力向上計画認定申請サイト等

認定申請

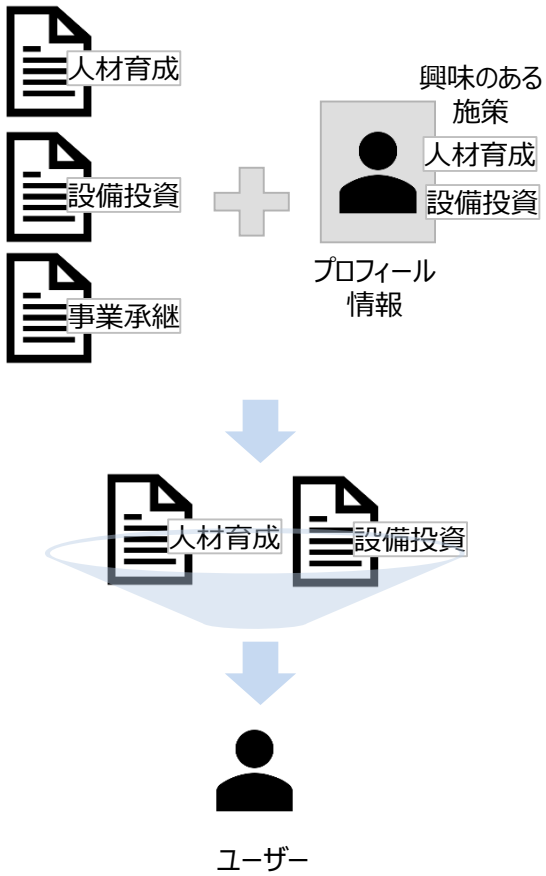
法人番号	1000000000022	ミラサポから取得
法人名	株式会社ABC	
売上高	200,300,000	
営業利益	10,196,000	

⑤フォームへ自動入力

ミラサポplusで実現するリコメンデーションイメージ

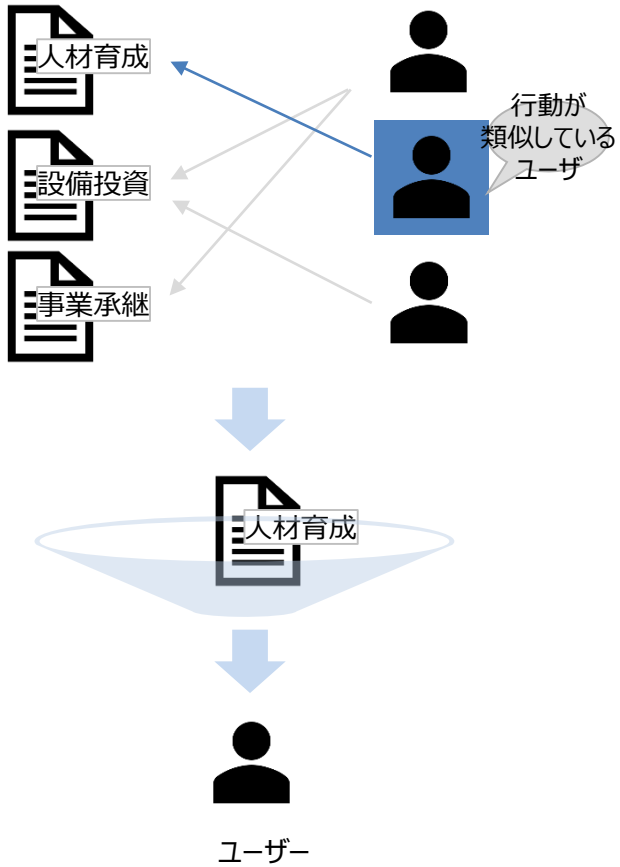
コンテンツベース

ユーザー登録情報に基づき、予めタグ付けされたコンテンツを表示



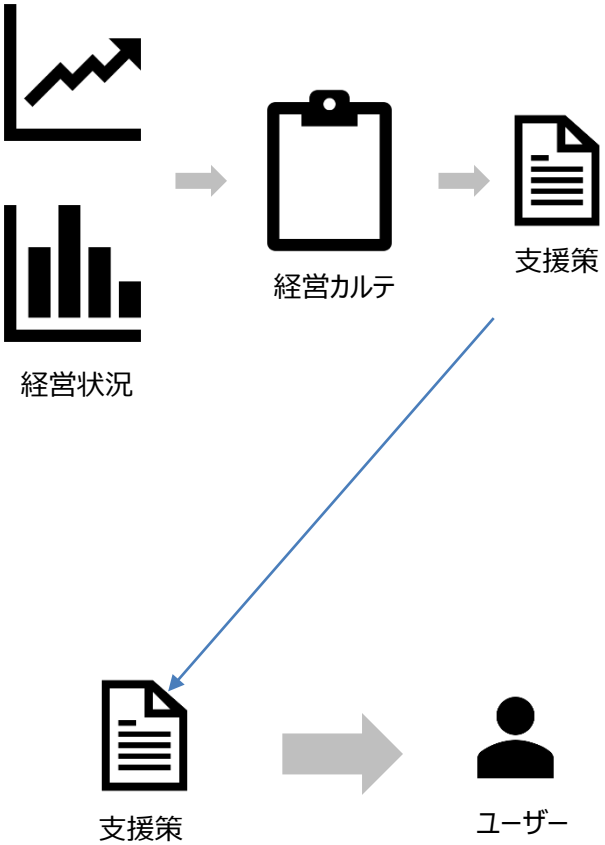
協調フィルタリング

行動が類似している他のユーザーの情報を用いて自動的に推論するリコメンデーション



シミュレーション

経営状況を可視化しおすすめの支援策を表示、また当該施策を利用した場合の財務状況シミュレーションを行う



情報提供

経営診断リコメンデーション

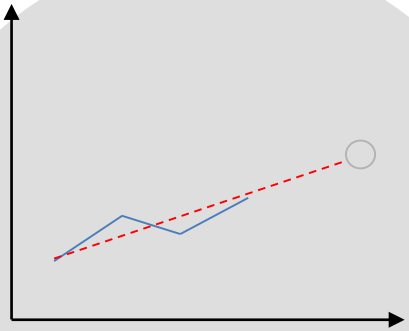
経営診断リコメンデーション（シミュレーション）具体案

①情報登録

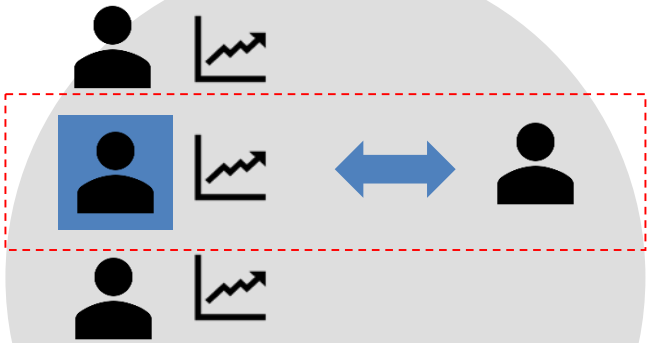
ミラサポplusへ
財務情報を
登録

②シミュレーション

ローカルベンチマーク
表示



過去データによる
業績予測



類似ユーザモデルとの
比較による業績予測